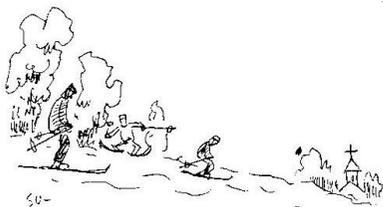


週報



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
 ~ 響き合う礼拝とひろば ~

<年間テーマ> 主に望みをおき、出会い結び合わされて

<聖句>
 イザヤ書 40:28~31
 ~主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。
 走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

エフェソの信徒への手紙 4:16
 キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり
 組み合わせられ、結び合わされて、おのおの部分は分に応じて働いて体を成
 長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。

「イエスが遣わすところで」

10章から主イエスが 12 人の弟子を選び、派遣に際して言葉を語ります。16 節以降の言葉群は主イエスが弟子たちに語ったことでありつつ、マタイの信仰共同体の中で宣教を前面で担った人々が直面した事柄へのメッセージとも推測されます。この日本での福音宣教への迫害はリアルには感じられないかもしれませんが。2月11日を日本バプテスト連盟では「信教の自由を守る日」としています。信仰の自由が奪われた時代の名残りに対する信仰告白です。日本では、信教の自由の保障はされています。しかし「宗教」へのイメージや偏見があり、キリスト者と公表して生きることは生きづらさを感じることもあるのではないのでしょうか。時代は違っても狼に対しての羊という非力な立場に置かれていると感じます。そのことを主イエスはよく知っておられます。強くなって力を得ることではなく、非力のままあなたがたを遣わす、と言われるのです。私たちの側の「伝えたい」はどこから起こるでしょう。神が主イエスを派遣して下さって私たちに神の恵みで生きる道を与え、そのために主イエスが命をかけて世界を愛し生き抜いて下さった、その出来事を受け取り、立ち戻るところからスタートできたらと思います。派遣されるところで直面する出来事に対しての励ましがあります。証しするときに話すのは父(神)の霊である。最後まで耐え忍ぶ者は救われる(「解放される」との訳も)。遣わされて参りましょう。【井形英絵】

日本バプテスト連盟 **神戸バプテスト教会**

牧師 井形 英絵

主日礼拝 毎日曜日 午前 10:30~11:45
 共育のひろば 第1・2日曜日 午前 11:45~12:40(成人クラスA・B・C)
 第2・3・4日曜日 午前 11:45~12:40 (小学生クラス)
 幼稚園C・S 日曜日 午前 9:00~10:20(2月16日,3月2・9・16日)
 ひまわりひろば 日曜日 午前 9:00~10:20(2月16日,3月2・9・16日)
 祈禱会 毎水曜日 午後 19:00~20:15



教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

祈りの課題

- 1、神戸バプテスト教会 2024 年度福音宣教と諸計画諸活動のために。新年度に向けての振り返りと計画のために。
- 2、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員ために。新園児の募集、3学期の保育を覚えて。
- 3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 6、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。
- 8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 9、困難の中にいる方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 314 の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革と新しい体制での働きのために。今年度中、新年度の働きのために。
- ◆関西地方教会連合の36教会のために。2024年度の連合の働きのために。

交読 4 5 詩編 24:1, 50:10, ハガイ 2:8, ヲブ 27:30

箴言 3:9, プラキ 3:10, エロリン 4:9:6-8

「スチュワードシップ」

地とそこに満ちるもの、世界とそこに住むものとは、主のもの。

銀はわたしのもの、金もわたしのものと、万軍の主は言われる。

森の生き物は、すべてわたしのもの、山々に群がる獣も、わたしのもの。

土地から取れる收穫量の十分の一は、穀物であれ、果実であれ、

主のものである。それは聖なるもので主に属す。

それぞれの收穫物の初物をささげ、豊かに持っている中からささげて主を敬え。

十分の一の献げ物をすべて倉に運び、わたしの家に食物があるようにせよ。

これによって、わたしを試してみよと、万軍の主は言われる。

必ず、わたしはあなたたちのために、天の窓を開き、祝福を限りなく注ぐであらう。

惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、

惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。

各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようとして心に決めたとおりに

しなさい。喜んで与える人を神は愛してくださいさるのです。

神は、あなたがたがいつもすべての点ですべてのものに十分で、

あらゆる善い業に満ちあふれるように、あらゆる恵みをあなたがたに

満ちあふれさせることがおできになります。